スレイヤーズ
リターン
RETURN

INTRODUCTION

1996年8月、アニメ界のリーサル・ウェポン(最終兵器)こと、映画『スレイヤーズ』が帰ってきた。そう昨年7月、全国の映画館を大爆笑のウズに巻き込んだと〜んでもないアニメーション映画の第2弾。その名も『スレイヤーズRETURN』!

主役はもちろん「長生きしたけりゃかかわるな」とまで言われたこの二人。“ロバーズ・キラー”“ドラまたリナ”こと美少女天才魔道士リナ＝インバースと、自称“リナ最強最大のライバル”にして、実は金魚のウンチこと白蛇のナーガだ。この、個性豊かにして最強の魔道士二人が、前作を更に上回るボケ&ツッコミ、攻撃魔法をひっさげて、これまた前作より恐ろしい(?)敵を相手にスクリーンで暴れまくる!

二人の破壊劇の舞台は、ビアズという小さな村。この村には、エルフの秘宝が伝わるといわれている。そのお宝に目をつけた悪の秘密結社ツァインに、ビアズの村は占領されていた! 強制労働させられている村人を助け出すため、リナとナーガは立ち上がる!(当然、ホンネはエルフのお宝目当てだけど)物語は伝説の“お宝”を巡っての醜い争奪戦に…… 剣と剣での一騎打ち、ド派手な攻撃魔法のブチかましあい、巨大なモンスターの肉弾戦! と、騒動は際限なく拡大していく!

今回(無謀にも)リナたちを敵にまわしたのは、ツァインのボス・ガレフ。本人も幻の攻撃呪文を使う凄腕の魔道士である(らしい)が、ガレフの腹心・大幹部ザッハードの剣の腕もあなどりがたい(と思う)。それだけでもやっかいな(はずな)のに、(たぶん)凶悪な9人の元部下たちも呼び寄せているという。そのうえ、いかなる攻撃魔法もきかないモンスターまで登場とあっては、さすがの最強コンビも苦戦は必至(かもしれない)! しかも、リナとナーガを窮地に追い込むのは、悪党ばかりとは限らない。二人に助けを求めてきた、ビアズの村の少女サリーナまでもが、虎視眈々とヒロインの座を狙っている(ホントかいな)!? リナ&ナーガ、ついに絶体絶命の大ピィィィンチ!!

原作は、第1回ファンタジア長編小説大賞で準入選をはたした神坂一のユーモア・ファンタジー小説。現在では文庫既刊20巻、発行

総計900万部を超える超ベストセラー・シリーズだ。今回の劇場版第2弾『スレイヤーズRETURN』は1作目と同様、リナとナーガのコンビが活躍する「スレイヤーズすぺしゃる」シリーズを下敷きにしたオリジナルストーリーで、脚本はなんと、原作者・神坂一自らが執筆！劇場版用に書き下ろした映像向けの物語は、ファンのツボを押さえたニク〜い展開だ。

総監督には、『戦国魔神ゴーショーグン』や『魔法のプリンセス・ミンキーモモ』の演出で、多くのファンの支持を得た湯山邦彦を迎え、監督は『魔法のプリンセス・ミンキーモモ』の渡辺ひろし、キャラクターデザイン・作画監督に『新世紀GPXサイバーフォーミュラ』の吉松孝博が、1作目に引き続き担当している。

そして、テンションの高い主役二人を演じる林原めぐみ(リナ)と川村万梨阿(ナーガ)のコンビネーションも、更に磨きがかかって絶好調の極み。

また今回の主題歌「Just be conscious」も、前作の「MIDNIGHT BLUE」に引き続いて、林原めぐみによるボーカルだ。しかも今回は作詩も彼女によるもの。リナを演じる本人だからこそ伝えられる、彼女の声に込められた熱いメッセージを感じて欲しい!!

個性的なキャラクターと、二転三転するストーリー、全編通して繰り広げられるノンストップアクション＆ノンストップギャグの連続攻撃！　超弩級のエンタティメントムービー『スレイヤーズRETURN』。

こんどは戦争…………かぁ!?

（上映時間：60分）

イラスト：吉松孝博

LINA INVERSE
リナ＝インバース

自称、美少女天才魔道士!!　胸は小さく胃袋はでかい。戦闘力と魔力は超一流だが、目的のためなら周囲の迷惑を考えない身勝手な行動派。「悪党に人権はない」をモットーに、悪党どもを退治してはストレスを晴らし、オマケに悪党の貯め込んだお宝まで頂くという、趣味と実益を兼ねた冒険の旅を続けている。得にならない事はしない主義だが、今回はお宝目当てに、少女サリーナを助ける事に……

その絶大な魔力と、ムチャクチャな性格ゆえに、悪党はおろか一般人にまで「盗賊殺し」、「ドラまた（ドラゴンもまたいで通る）リナ」という名で恐れられている

盗賊殺し（ロバーズキラー）のリナ!!

スリッパ

相手がボケた事を言うと、どこからともなく取り出し、絶妙なタイミングでツッコミを入れるリナの必需アイテム（？）。本作では、３回も使用する

リナの魔法リスト　LINA'S SPELL BOOK

- **ファイアー・ボール（火炎球）**
  ……………………着弾と同時に炸裂する火球
- **ラグナ・ブラスト（冥王降魔陣）**
  …敵の周囲に闇の柱が吹き上げ、体を捕らえる
- **エルメキア・ランス（烈閃槍）**
  ……………敵の精神にダメージを与える光の矢
- **フレア・アロー（炎の矢）**
  …………………………無数の炎の矢を放つ技
- **ブラスト・アッシュ（黒妖陣）**
  ……………………敵を一瞬にして塵にする衝撃波
- **レイ・ウィング（翔封界）**
  ………周囲に風の結界を張り、高速で飛行する
- **ディル・ブランド（炸弾陣）**
  ……結界の中の大地を、爆発的に吹き上げる術

ドラグ・スレイブ!!

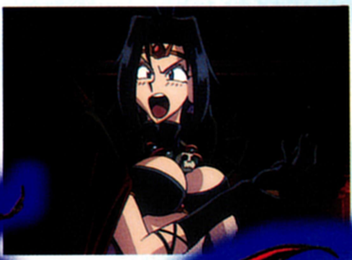
竜破斬。リナが使う最強クラスの攻撃呪文。古えの賢者レイ＝マグナスが対ドラゴン用に編み出したとされる、赤眼の魔王シャブラニグドゥの力を借りた、黒魔術系最強の攻撃魔法で、小さな城くらいなら軽く消し去る程の威力！

これがウワサの高笑い

ナーガの魔法リスト　NAGA'S SPELL BOOK

フェルザレード（螺光衝霊弾）
……………手の中から発射する、白く輝く光弾
フリーズ・アロー（氷の矢）
…………………………フレア・アローの氷版
ベフィス・ブリング（地精道）
………………………………トンネル掘りの術
ブレイヴ・ハウル（蓮獄火炎陣）
……………大地を裂き、溶岩を噴き出させる技
メガ・ヴライマ…岩からゴーレムを召喚させる術
ガーヴ・フレア（魔竜烈火咆）
………………敵に命中するまで追い続ける劫火
ウィンディ・シールド
…………………その名の通り、風で造るバリヤ
ベッカー・ストライク
………魔法ではないが、ビアズの村人・ベッカーさんを、敵に向かって蹴り飛ばすという荒技

タカビーな性格を反映した高笑いは、周囲の者にすっげ〜威圧感を与える。また抜け目が無く、サリーナの家で、いつの間にか金目のものを物色していた。やはりこちらも、リナに負けず劣らずとんでもないね〜ちゃんである。



「金魚のうんち」と呼ばれ、リナに付きまとい、トラブルを引き起こすが、反省の色ナシ。カンが鋭く、リナの態度を見ただけで、ビアズの村に向かう真の目的を見抜いてしまう

リナ・最大最強のライバル!?

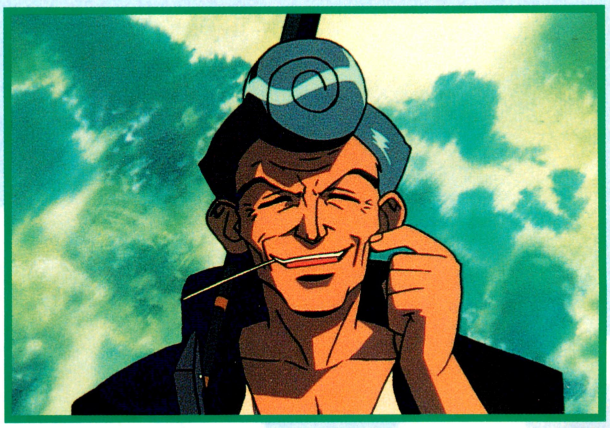
NAGA THE SERPENT

白蛇(サーペント)のナーガ

自称、リナの最大最強のライバル。勘は鋭いがツメが甘い。自信過剰で、後先を考えない超目立ちたがり。胸と腰をこれ見よがしに強調したコスチュームに身を包み、そのナイスなバディを惜しげもなくさらしている。リナに匹敵するほどの魔力を持つが、その力をコントロールするすべを知らないため、しばしば予測不能の大災厄を招く。今回もリナにくっついて、一緒にビアズの村へ……

CHARACTERS

キャラクター

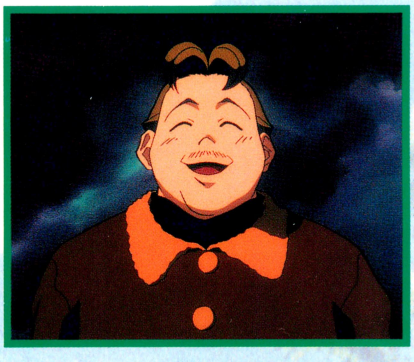


サリーナの父

ビアズの村の村長。一見ただの酒好きのオヤジだが、剣技に優れており、その腕前は相当のもの。先祖が残したエルフとの約束の地を守ってきたが、村をツァインに襲撃され、しかも助けに来た（？）リナ＆ナーガに好き放題やられてしまう。本作最大の被害者

サリーナ

本作「スレイヤーズＲＥＴＵＲＮ」の、もう一人のヒロイン。エルフの財宝伝説が伝わる、ビアズの村の村長の娘。悪の秘密結社ツァインに村を襲われ、運良く（悪く？）知り合ったリナに助けを求める。清楚可憐な少女だが「自分で納得のできる生き方」をモットーにしているシンの強い娘で、結構タフ。剣技にも優れているのだが、リナ＆ナーガのペースに巻き込まれコケまくる



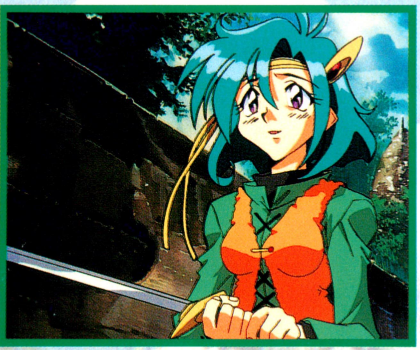
ベッカーさん

サリーナ家の隣に住むサリーナの父の飲み友達。ごく普通のオッサンだが、戦闘時においては、ナーガのアイテムとなって宙を飛び、対ザッハード戦で危機に陥ったリナを救う

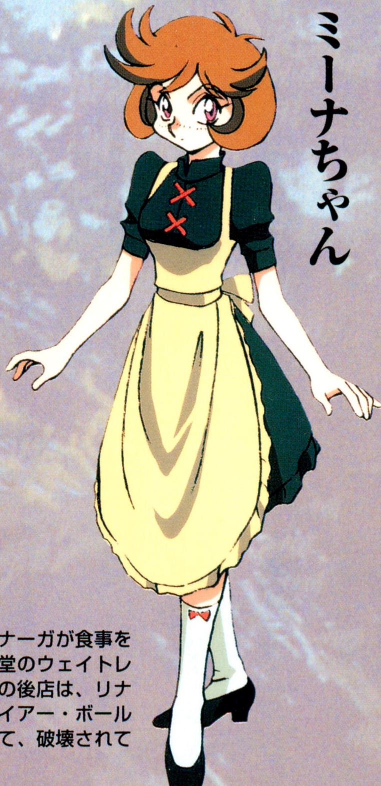
村の人達

ビアズの村で平和に暮らしていたが、ツァインの襲撃を受け、強制労働に駆り出されてしまった。リナたちに解放され、村のために戦うサリーナ親娘の姿に心うたれて、武器を手に戦うのだった

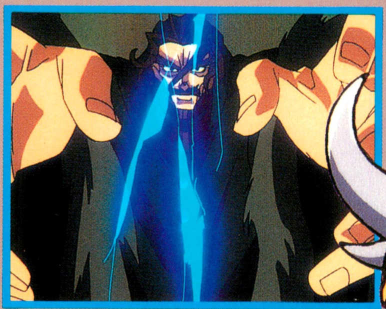
可愛いだけではなく、父親ゆずりの剣の腕もなかなかのもの。モンスターやガレフのかつての部下相手に、剣劇を繰り広げる

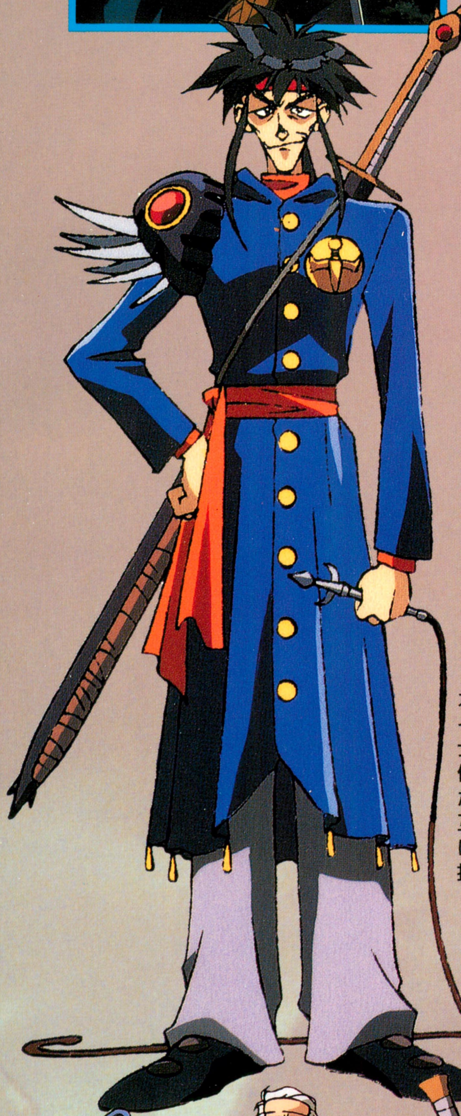


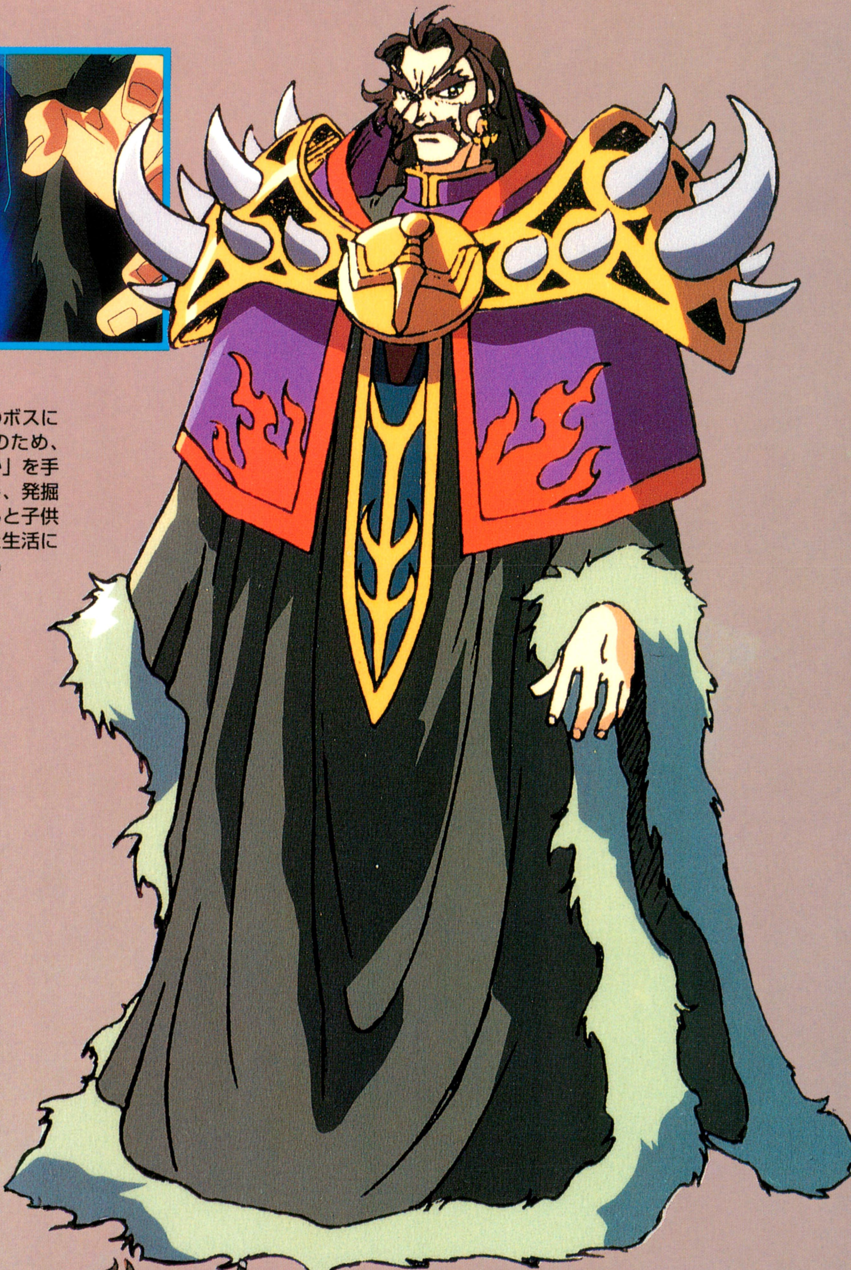
ミーナちゃん



リナとナーガが食事をした食堂のウェイトレス。その後店は、リナのファイアー・ボールによって、破壊されてしまう







ガレフ

悪の秘密結社ツァインのボスにして魔道士。世界制覇のため、ビアズの村に眠る「何か」を手に入れようと村人を脅し、発掘作業に駆り出す。奥さんと子供がいたが、その破綻した生活に耐えきれず逃げたらしい

ザッハード

ガレフの右腕としてツァインの幹部を勤める剣士。レッサーデーモンを使い、村人を働かせていた。その剣の腕はリナと互角かそれ以上で、彼女にめったに抜かない剣を抜かせた

ガレフの元部下たち

ガレフにかつて仕えていた９人の部下たち。ある理由があってガレフとは別行動をとっていたが、再び召集を受け、ビアズの村でガレフの下に集結した。剣技、格闘、魔法、怪力、ナイフ投げ等、各人が個性的な特技の持ち主で、油断がならないヤツラだ

ものがたり

STORY

今日も今日とて我らがリナ＝インバース＆白蛇（サーペント）のナーガの天下無敵の魔道士コンビは、ステーキ肉の一切れをめぐって（例によって）弱肉強食の熾烈な争いを繰り広げていた。置き引きしようとした男に渾身のファイアー・ボール！（例によって）派手すぎるリナの攻撃に、ガレキの山と化す宿屋の食堂！　その下敷きになりながらも（例によって）タカビーな笑いでリナにおごりを迫るナーガ！　今日も二人はますます元気だ！

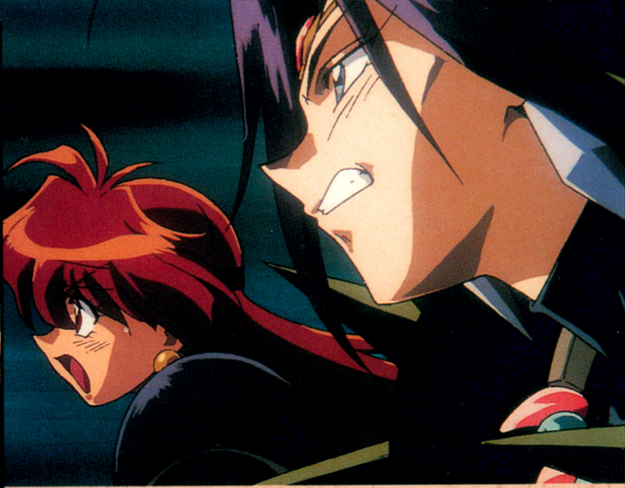
そんな二人の前に立ちつくすボロボロの少女。彼女はリナに何かを告げようとするが、ついに力尽き、気を失ってしまった。

少女の名はサリーナ。二人に介抱され気がついた彼女は、リナに自分の村を悪党の手から救ってほしいと頼むのだった。十日前、レッサーデーモンを率いた一団が、彼女の住むビアズの村を襲い支配してしまったというのだ。秘密結社ツァインと名乗る彼らは、村人に何かの発掘作業をさせてこき使っているらしい。

最初は、サリーナの依頼を断ろうとしたリナだったが、ビアズの村にはエルフから伝わる何かがあるという伝説を思いだし、引き受けることにした。「やつらの狙いはエルフのお宝にちがいない！」と推理したのだ。リナの態度の急変ぶりに、何か下心があると読んだナーガも当然ついてくる。こうして、三人はビアズの村を目指すことになった……

イラスト：吉松孝博

ほーっほっほっほっほ!!
い!!
密結社ツァイン!!



ビアズの村に着くと悪の秘密結社ツァインの幹部ザッハードが、レッサーデーモンどもを率いて三人を襲ってきた。しかしリナとナーガの魔法の前には敵ではない。二人の圧倒的な強さに、慌てて退却していった。

サリーナの父親から村の言い伝えを聞くリナとナーガ。彼によれば、ビアズの村のそばにはエルフの隠れ里があったが、ある日、そのエルフたちが引っ越す事ことになり、当時の村長に“ある場所”を守って欲しいと頼んだのだという。その場所が守り続けられれば村は発展するし、守られなければ村は災厄に見舞われるという。村長の子孫であるサリーナ親娘の家には、そのエルフの約束の証として腕輪が残されていた。

その頃ザッハードから報告を聞いたツァインのボス・ガレフは、リナたちを迎え撃つべく、かつての部下たちに召集をかけていた。

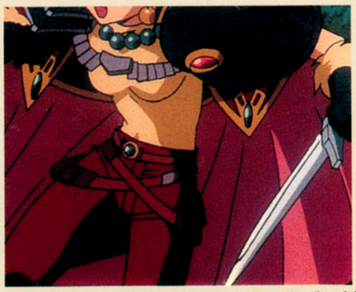
報酬は出るというので、用心棒として村に残ったものの、ツァインは動きをみせない。せめて敵の本部でも判れば、こちらから攻撃することもできるのに……と、思っていたら、なんと隣のベッカーさんが本部の場所を知っているという。ベッカーさんの案内で、リナとナーガはツァインの本部に乗り込んだ！

スレイヤーズ ミニ 豆知識

魔道書

いにしえの力の秘密についての諸々が載っているらしい。ガレフの野望のよりどころだが、いちばん重要なページがひっついて、読めなくなってることにガレフもリナたちも気付いていない…

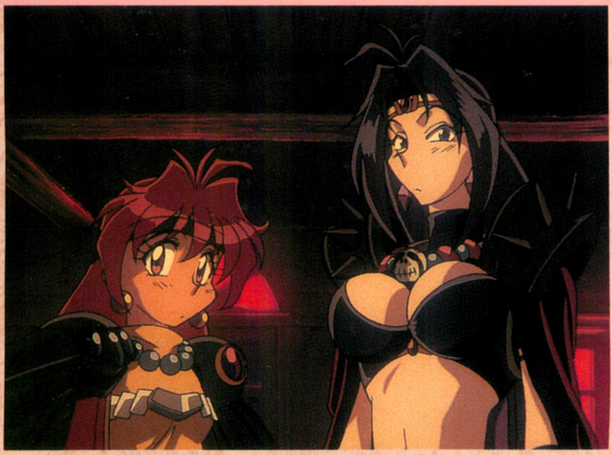
リナの剣



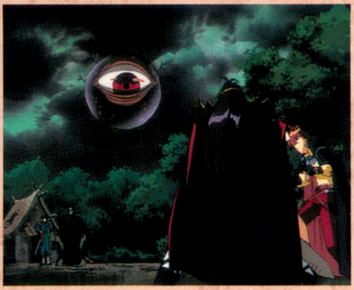
魔道士であるリナは、戦闘においては腰に下げた剣をほとんど使わない。シリーズ通してお飾り程度のアイテムになっていたが、本作ではザッハード戦でその腕前を披露してくれる

レッサーデーモン

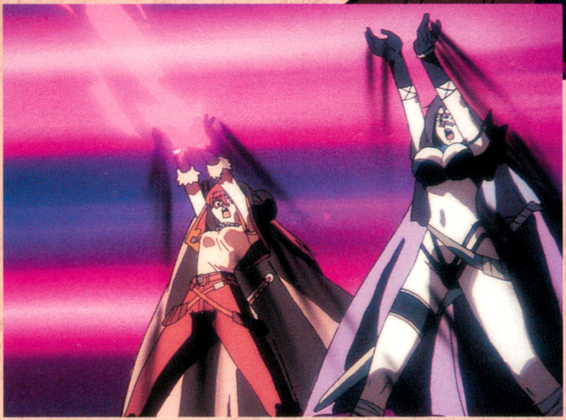
ガレフによって召喚される怪物。口から火炎を吐き集団で攻撃してくる。魔族の中では下級クラスだが、一般の人々にとっては充分脅威となる存在だ。もっとも主役の二人にとっては、ただのヤラレ役に過ぎない



村の大事な腕輪を、持っていこうとするナーガ。だが、この後腕輪は取れなくなってしまう…



魔獣カオティック・アイを召還し、大得意のガレフ。だが、リナー&ナーガはたじろぐ様子も見せない……



ビアズの村に現れた９人のガレフのもと部下たち。たった一人で剣を抜くサリーナの運命やいかに…

本部では当然のごとく、ガレフとザッハードが待ち受けていた。ガレフは魔獣カオティック・アイを召還し、リナとナーガに襲いかかる。そのうえ、ザッハードもかなりの剣の腕前である。とはいえ､リナとナーガは絶妙のコンビネーションで彼らの攻撃を退けていく。

ガレフはついに大勝負にでてきた。幻の魔法とされた秘奥義メテオ・フォールの呪文を唱えはじめたのだ！「術を完成させてはダメ!」あせるリナとナーガ。しかし二人の奮闘むなしく、ガレフの呪文は完成してしまう。

なんとかピンチを切り抜けたリナたちに向かって、ガレフはかつての部下たちをビアズの村に呼び寄せていることを告げる。「サリーナたちが危ない！」リナとナーガは村へと引き返した。

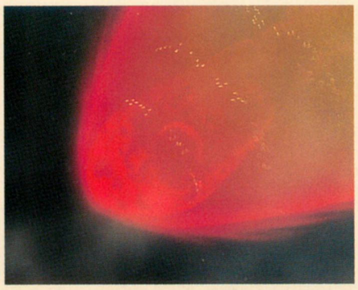
そのころ、ビアズの村にはすでにガレフのかつての部下たちが集結していた。サリーナは彼らをたった一人で迎え討とうとする。

村へと急ぐリナとナーガ。だが、このままでは間に合わない！　リナは、ナーガだけを先に村へ送り込む作戦にでるのだった。

腕輪

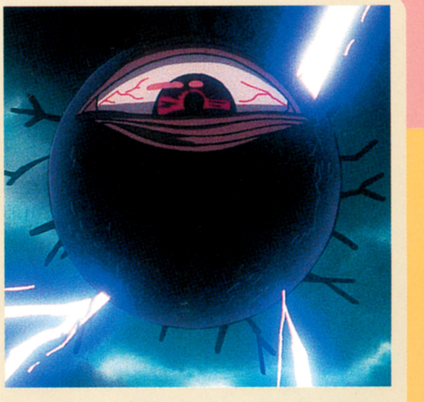
ビアズ村の村長の家に代々伝わる、エルフからの贈り物で、サリーナの家にあった。オリハルコン製に見えるが定かではなく、勝手にはめたナーガの左腕から外れなくなってしまった

メテオ・フォール



ガレフが使用する幻の魔法！　虚空に浮かぶ星の破片を降り注がせ、街を吹っ飛ばすと言われる程恐るべき威力を持った魔法だが、それを使える者は少なく、幻の魔法とされていた……

カオティック・アイ



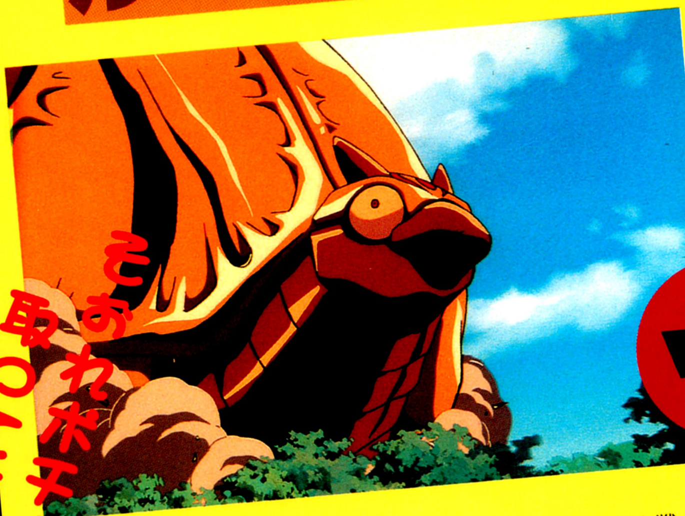
ガレフによって召喚される不気味な外見をした魔獣。直径２mの巨大な眼球で、その瞳からは強烈な電撃を放ち、並の攻撃呪文ならバリヤを張って跳ね返してしまう恐るべき能力を持っている

戦闘開始寸前のビアズの村に、ナーガが高笑いとともに舞い降りた。なんとか間に合ったようだ。まずは、あいさつがわりのフリーズ・アローを、問答無用でガレフの元部下たちにぶちかますナーガ。だが、それを合図にビアズの村の戦いは始まった。ようやく到着したリナも参戦し、ますます大乱戦にもつれこむ。そこに息せききって駆けつけるガレフとザッハード。だが、元部下たちはガレフを見つけるなり、袋叩きにしてしまう。どうやら、彼らの狙いはビアズの村ではなく、ガレフだったらしい。村人との誤解も解け、これでめでたしめでたしかと思いきや、ザッハードが「この村に埋まっているお宝を手に入れれば、世界征服も、夢じゃない」と説得する。それなら、話は別であると、先を争って宝を掘りだそうとする元部下たち。「やっぱり、お宝だったのね」と欲にかられたナーガも穴堀りに加わり、ついにはあるものを掘り出してしまう。

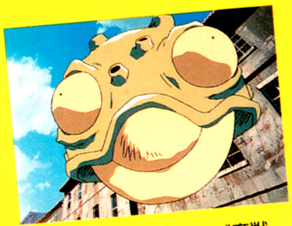
それは光輝く巨大な繭であった。そしてその繭は不気味な魔獣へと姿を変える。「よみがえるがいい！　我、ガレフ・カインザートの名のもとに！　解き放たれよ！　魔獣王ルーンガスト！」勝ち誇るガレフの高笑いとともに、さらに魔獣は変型しその真の姿を現した！　危険を感じた元部下の魔道士が、ルーンガストに向けて、強力な攻撃魔法ガーヴ・フレアを放つ。だが、まったく効果がない。それならと、リナが必殺のドラグ・スレイブをぶちかますが、それさえも吸収されてしまった！　かつてエルフが、対魔族用の究極兵器として生み出したこの魔獣は、全身がオリハルコンでできていて、一切の魔法が効かないのだ！　ドラグ・スレイブさえ効かない強敵。リナとナーガに勝ち目はあるのか？

かつてのボスであるガレフに、情け容赦なくケリを入れる元部下たち。これでは悪の秘密結社のボスたちもかたなしである

ルーンガスト



そぉれポチ！取って来おおお〜〜い!!



ルーンガストが産むチビ魔獣

千年前、すべての生き物が魔族と戦った降魔戦争のおり、エルフの魔道士が魔族を倒すために造った最強の魔獣。その素材には魔力を封じるオリハルコンという金属が使われているため、一切の攻撃魔法が効かないうえ、非常に硬く通常攻撃もあまり効果がない。さらに、尻尾（？）からチビ魔獣を大量に生み出し攻撃してくるという、非常にやっかいな敵である

魔獣王ルーンガストＶＳ巨大ゴーレム。ナーガが魔法で召喚したゴーレムを応援するリナとナーガであったが……

攻撃魔法が効かない魔獣ルーンガストを倒すため、ナーガがメガ・ヴライマの呪文で召喚したゴーレム（石巨人）
ナーガが召喚したわりには、珍しくまともな格好をしている。はっきり言ってカッコイイ（前回のドラゴンとはエラい違いである）。
その巨体から生み出されるパワーは、まさにメガトン級の破壊力。ルーンガストに対して、堂々の肉弾戦を挑む

ゴーレム

よっしゃーーっ!!

映画『スレイヤーズRETURN』主題歌

Just be conscious

作詩:MEGUMI／作曲:佐藤英敏／編曲:添田啓二
／コーラスアレンジ:奥井雅美

広がる思い彼方へ続く
今思い出すソラの果て
選び生まれ落ちたこの地で
出会いと別れ　束の間に過ぎる　夢

響け　思いよ力の限り
届け　心の奥深く
走れ　後ろは振り向かないで
時は　プロローグを刻む

抑圧の中塞ぎ止められて
他人を責めても変わらない
運とチャンスと偶然とタイミング
心磨き澄まし感じる

人は傷を知る度に
強く優しくなれる
涙のあとの真実
かけがえのない今を生きてる

※
明日の自分を好きになりたいから
今日の自分をギュッと抱きしめる
自分が主役の人生ぐらいは
楽しまなくちゃもったいないわ
ハッピーエンドだけじゃ物足りない
時には涙もエッセンスなの
泣いて傷ついてそして立ち直って
演じてみせるわフィナーレまで

祈れ　言葉は姿を変える
進め　信じてこの道を
掴め　両手に今その夢を
余計なプライド脱ぎ捨て

同じ苦しみ繰り返してる
気付くまでずっとラビリンス
抜け出す術は必ずあると
耳を済まして見つけ出す

人は孤独を知る度
ぬくもりを捜し求め
傷を癒して眠るの

かけがえのない未来に向かって

幸せのかたちそれぞれ違うのよ
他人の言葉に惑わされない
信じるものが私の現実

恩着せがましい偽善なんていらない
せっかく今を生きているのだから
好きなこと楽しいことしなくちゃ
次の人生なんて待っていられない
精一杯の今に乾杯！

※　Repeat

日本音楽著作権協会(出)許諾 第9671200-601号

ぐん^{2}広がるスレイヤー

THE

リナ・ナーガ イラスト：吉松孝博

NOVEL

1989
スレイヤーズ！
第一回ファンタジア長編小説大賞準入選

月刊ドラゴンマガジン（富士見書房）

1989 スレイヤーズすぺしゃる
10月号にデビュー作『白魔術都市（セイルーン）の王子』を発表。以降不定期に作品を発表する

1991 スレイヤーズすぺしゃる（連載）
11月号掲載の10作目『ザ・チャイルド』より毎月連載となる。現在も好評連載中！

1990 スレイヤーズ！（富士見ファンタジア文庫）

富士見ファンタジア文庫
富士見書房
税込価格￥500

次々と現れる強力なモンスターを相手にリナが大活躍する！　第1作は『スレイヤーズ！』。上記の第1回ファンタジア長編小説大賞準入選作品が単行本になったものだ。以降、『アトラスの魔道士』『サイラーグの妖魔』と、たてつづけに書き下ろしの形で続編を発表。あらいずみるいの描く魅力的なイラストが物語を彩る。最新刊は第11作目『クリムゾンの妄執』

COMIC

月刊コミックドラゴン（富士見書房）

1992 Vol.1に第1話が掲載された。ファン待望の初コミック化。

1995 4月号より。96年8、9月号には「RETURN」もマンガ化。

1995 スレイヤーズ
あらいずみるい版

神坂一の書き下ろした原案を、あらいずみるいが独自の味付けでアレンジ。黄金コンビによるスペシャルコミック。

ドラゴンコミックス
角川書店 税込価格￥860

1995 超爆魔道伝スレイヤーズ
義仲翔子版

作画は新鋭・義仲翔子が担当。1巻目はオリジナル短編を収録。2巻目以降は原作小説にそった展開になっている。

角川コミックス・ドラゴンJr
角川書店 税込価格￥560

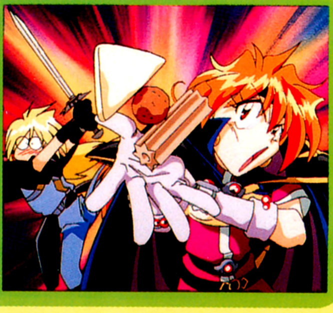
TV

1995 スレイヤーズ

4月～9月までテレビ東京系で放映。アニメ製作イージーフィルム。林原めぐみ、松本保典、緑川光、鈴木真仁、子安武人、といった豪華声優陣がレギュラーを務めた。

1996 スレイヤーズNEXT

ファンの熱烈なラブコールに応え、4月より再スタート。新たに人気キャラ・ゼロス（石田彰）、オリジナルキャラ・マルチナ（柊美冬）も加わり、ますますパワフルに！ 毎週金曜夜6:30～7:00 テレビ東京系絶賛放送中



ーズの世界
HISTORY OF SLAYERS

小説にはじまりコミック、テレビ、オリジナルビデオアニメ、そして劇場版……。メディアを越えて進化し続ける『スレイヤーズ』が、一目でわかる！　君も全ジャンルを制覇して、重厚な設定&深みのある物語を自分のものにせよ!!

1991 スレイヤーズすぺしゃる（富士見ファンタジア文庫）

味方にすれば頼りなく、敵にすればオモシロイ!?　リナのライバル・ナーガが登場！　月刊ドラゴンマガジンに掲載された短編5作に、描き下ろし1作を加えて単行本化されている。こちらもイラストはあらいずみるい。最新刊は第9作目『イリーズの旅路』

富士見ファンタジア文庫
富士見書房／税込価格￥500

MOVIE

1995 スレイヤーズ

7月公開された劇場版第1作。リナ（林原めぐみ）とナーガ（川村万梨阿）が、「約束の島」で大あばれする『すぺしゃる』の番外編。総監督・脚本やまざきかずお。アニメーション制作J.C.スタッフ。劇場未公開シーンを加えた『完全無欠版』のビデオが、バンダイビジュアルと角川書店より発売中！

OVA

1996 スレイヤーズすぺしゃる①

7月発売。ストーリーは、『スレイヤーズすぺしゃる③　ナーガの冒険』（富士見ファンタジア文庫）に収録されている『キメラの恐怖』と『ナーガの冒険』をミックスしたもの。11人ナーガが圧巻である。脚本のやまざきかずおをはじめ、劇場版第1作とほぼ同じスタッフが製作に参加している。全3巻発売予定。

バンダイビジュアル（ビデオ・LD）角川書店（ビデオ）同時発売
税込価格￥5,150　30分

1996 スレイヤーズRETURN

8月3日公開、劇場版第2弾。原作者の神坂一が脚本に初挑戦！　もちろん、ストーリーも神坂一が書き下ろしている。新キャラクターのサリーナ、ガレフ、ザッハード、サリーナの父らもあらいずみるいによるデザイン。総監督が湯山邦彦にバトンタッチした他は、ほぼ前作と同じ実力派スタッフが制作に参加。これで面白くならないワケがない。かくして「スレイヤーズ」の世界は、ますますパワフルに広がっていくのだ！

©神坂一・あらいずみるい/角川書店 ©1995 義仲翔子・神坂一 ©1995 あらいずみるい
©1995 神坂一・あらいずみるい/角川書店/テレビ東京・SOFTX・丸紅 ©1996 神坂一・あらいずみるい/角川書店/テレビ東京・SOFTX

CAST&
INTE

林原めぐみ
MEGUMI
as RINA INVERSE

とにかく大暴れ、ひたすら大喰い、そして大めーわくと……！

リナがスクリーンに帰って来ました！ まさに『RETURN』って感じ。２年連続劇場版で大暴れできるなんてサイコーです。スカッとしたけりゃまずは見なはれ…ってか。

もっちろんナーガとの息もバッチリ。ガッチリタッグを組んで、どこまでもパワフルに、どこまでもポジティブに、大活躍してます。とにかく大暴れ、ひたすら大喰い、そして大めーわくと（笑）。今後何本作られようと、テレビだろうとビデオだろうと変わりません！ リナの基本姿勢ですからねっ!! リナを演る以上とことん貫きますよ。でも私以上に基本姿勢を貫いている感じの川村さん……。マイクの前に、ス～ッと静かに現れていきなり、ほ――っほっほほほほほほ!! 細い体のどこに、あんなエネルギーがあるのか不思議です。“コワイ”です……。キャ～スイマセ～ン！

あと主題歌「Just be conscious」もCHECK！ 歌だけじゃなく詩も書いてます。絵がないうちに書かなきゃいけないんで、映像とシンクロするか不安で……。でも何とか書き上げて、曲もすっごいいいですから、皆さんぜひ聴いてくださいね。よろPく♥

リナ・ナーガ イラスト：吉松孝博

【総監督】
湯山邦彦
YUYAMA

カッコ良さとギャグのギャップが面白い

スレイヤーズのギャグは、キャラクターたちが、おどけて何かするのではなくて、あくまでシリアスで盛り上げていって最後に落とす作りになっています。カッコイイところはカッコ良く楽しめるし、それゆえオチとのギャップが面白い、そのへんが勝負どころですね。

今回は原作者の神坂さんがご自身で脚本を書かれてるので、原作のニュアンスが非常に色濃く出ている作品になったと思います。神坂さんはご謙遜で、何も考えずに書きましたとおっしゃってましたが、皆さんにも何も考えずに楽しくご覧になって、スカッとしていただけたらと思います。

【原　作】
神坂一
KANZAKA

気軽に見て笑っていただけたら幸いです

前回が比較的ドラマチックだったのに対して今回は、ギャグに徹した作品になっています。スタッフの方々とも相談して「どうやったら“魅せる！”作品になるか」を念頭に置いて脚本を書きました。

リナやナーガたちが“ガンガン走り回りって、バンバンブチ壊す”そんな場面をたくさん盛り込んだつもりです。敵にも個性的な新キャラを登場させて、かなりヘンなことをさせていますので、ゼヒご注目下さい。

細かいリクツはさておいて、肩の力を抜いて、気軽にハハハハと笑っていただけたら幸いです

川村万梨阿 MARIA as NAGA THE SERPENT

リナとのかけあいも高笑いも“ノリ”と“野性のカン”です

ほーっほっほっほっほっほっほ!! 川村です。今回も“ノリ”と“野性のカン”で、リナとの絶妙なコンビネーションを見せます、聴かせますよ。かけあいもアドリブのギャグも、いつもの高笑いもすべてノリと野性のカンでやってマス(笑)！

ガレキの下から起き上がる黒コゲのナーガ、天空から降って来るナーガ……見て欲しいナーガはいつも“高笑い”してます。アフレコのスタジオでは、首のチョーカーも引きちぎれんばかりに、血管走らせて声張り上げてましたんで、みんなもマネして高笑いしてね……!!

他にも、シナリオが神坂一先生書き下ろしのオリジナルストーリーだったり、巨大魔獣がたくさん出て街をグチャグチャに壊したり、追っかけられたり蹴っ飛ばされたり、ハデなシーン満載でオモシロく見てもらえるんじゃないかなッ！

今年の夏もスレイヤーズ見て、ナーガの高笑いを聞いて、映画館でドッと汗かいて下さい。そしてこれからも。夏と言えばスレイヤーズ！ “寅さん”のように毎年毎年やりたいですね。

【原作イラスト】ARAIZUMI あらいずみるい

自分の描いて来たキャラが動くのは嬉しい

今回新登場するサリーナは、神坂さんの原作のイメージを十分出せるように苦心したキャラクターです。ただ可愛いだけじゃなく、考え方のハッキリしたシンの強い女のコという感ジが、なるべくビジュアルでもわかり易く伝えられるようにガンバりました。

自分の描いて来たキャラクターがアニメになって動くのは、とても嬉しいことです。リナやナーガに関しては、キャラクターデザインの吉松さんにおまかせしてるんですが、かなり僕の絵のイメージに近づけていただいて……二人とも凄く可愛いく描けていて、とても満足しています。

CAST

リナ＝インバース……………………林原めぐみ
白蛇(サーペント)のナーガ……………………川村万梨阿

ザッハード…………矢尾一樹

サリーナの父………大塚明夫
サリーナ……………平松晶子

老魔道士……………稲葉　実
女格闘家……………岡本麻弥
戦士…………………郷里大輔
ベッカー……………茶　風　林

村人A………………岸野一彦
村人B………………山崎たくみ
村人C………………千葉一伸

ガレフ………………内海賢二

スレイヤーズ RETURN

STAFF

製　作……………………………角川歴彦
企　画……………………………田宮　武
プロデューサー…………………佐藤公宣
原　作……………………………神坂　一
原作イラスト……………………あらいずみるい
(月刊ドラゴンマガジン連載・富士見ファンタジア文庫刊)
総監督……………………………湯山邦彦
監　督……………………………渡辺ひろし
脚　本……………………………神坂　一
キャラクター原案………………あらいずみるい
キャラクターデザイン・作画監督…吉松孝博
美術監督…………………………加藤　浩
撮影監督…………………………大瀧勝之
音響監督…………………………小林克良
音　楽……………………………服部隆之

主題歌「Just be conscious」
歌……………………………林原めぐみ(キングレコード)
サントラ盤………………………キングレコード
アニメーション制作……………J.C.スタッフ
協　力……………………………富士見書房
製　作…………『スレイヤーズ』製作委員会
角川書店
バンダイビジュアル
丸紅
キングレコード
配　給……………………………東映

アフレコ
(1996.06.30) 渋谷APUスタジオにて

「観るだけじゃダメ！
サントラも聴いてくんないと
もっと暴れちゃうゾ!!」

STAR CHILD

SLAYERS RETURN
: THE MOTION PICTURE"R"

「スレイヤーズRETURN」のサウンドトラックアルバムがいよいよ登場！
音楽は昨年の劇場版に続いて服部隆之氏が担当。
林原めぐみの自作詞による主題歌〝Just be conscious〟は
フルサイズとMOVIE Sizeの2ヴァージョンを、
〝RUN ALL THE WAY!〟はシングルヴァージョンに加えて
〈FIRE BALL GROOVE MIX〉も収録。
さらにこのお方の曲も入れないと後がコワイので、
白蛇のナーガ：川村万梨阿の新録音曲〝本気.!!〟も収録しました。
ジャケットはもちろんあらいずみるい先生描き下ろしで、
もう言うことなしっっ☆

8.21 ON SALE

CD:KICA-314（税込¥3,000）

◇主題歌シングル大ヒット発売中
Just be conscious
c/w RUN ALL THE WAY!
VOCAL：林原めぐみ

CDS:KIDA-136（税込¥1,000）

TVシリーズも放映中よ♥
スレイヤーズNEXT
SOUND BIBLEⅡ
CD:KICA-317（税込¥3,000）10.2 ON SALE

OVAも忘れちゃいやーん♥
スレイヤーズすぺしゃる
サウンドトラックアルバム
CD:KICA-318（税込¥3,000）10.16 ON SALE

©1996 神坂一・あらいずみるい「スレイヤーズ」製作委員会

Distributed by
KING RECORDS

©1996 神坂一・あらいずみるい／「スレイヤーズ」製作委員会

ORIGINAL VIDEO ANIMATION SERIES

オリジナル・ビデオ・アニメ
スレイヤーズすぺしゃる

❶「恐怖のリメラ計画」
VC&LD NOW ON SALE！
各¥5000（税抜）VC:BES-1326／カラー／30分／ステレオHi-Fi
LD:BELL-850／カラー／30分／デジタルステレオ

★封入特典★ ☞ すぺしゃるライナーノーツ
（アフレコレポート漫画付き）

■スタッフ■ 製作:角川歴彦／企画:田宮　武／原作:神坂　一
イラスト:あらいずみるい（月刊ドラゴンマガジン連載／富士見ファンタジア文庫刊）
監督:わたなべひろし／脚本:やまざきかずお
キャラクターデザイン・作画監督:吉松孝博
アニメーション制作:J.C.スタッフ
製作:「スレイヤーズ」製作委員会

■キャスト■
リナ=インバース:林原めぐみ
白蛇のナーガ:川村万梨阿
ディオル:青野武／ビスタ:塩沢兼人

イラスト原画:あらいずみるい

EMOTION とにかく元気！ 発売・販売元：バンダイ ビジュアル(株)

スレイヤーズの本

「クリムゾンの妄執」より

富士見ファンタジア文庫

「スレイヤーズ」シリーズ
神坂 一　イラスト/あらいずみるい
既刊11点以下続刊……各500円

スレイヤーズ11
クリムゾンの妄執（最新刊）
神坂 一　イラスト/あらいずみるい

「スレイヤーズすぺしゃる」シリーズ
神坂 一　イラスト/あらいずみるい
既刊9点以下続刊……各500円

富士見ドラゴンブック

MAGIUSシリーズ スレイヤーズRPG
神坂 一・原作　中澤光博/ORG著

ナーガ様といっしょ♡……600円
だんぢょん大作戦（オペレーション）！……560円
（最新刊）**入門!リナの魔法教室**……600円

※「スレイヤーズRPG」をプレイするには、「MAGIUSスタートブック」が必要です。

（価格はすべて税込みです）

ドラゴンマガジンコレクション

スレイヤーズDX（でらっくす）
ドラゴンマガジン編集部・編……1600円

劇場版スレイヤーズ
ドラゴンマガジン、コミックドラゴン共同編集　1500円

スレイヤーズNEXT フィルムブック❶❷❸
ドラゴンマガジン編集部・編……各590円
❸は8月26日発売!!

ドラゴンマガジンスペシャル

あらいずみるい画集 SLAYERS
……2000円

ドラゴンマガジンコレクションSP

必勝!スレイヤーズ❶〜❸
ドラゴンマガジン編集部・編
（❶580円 ❷680円 ❸780円）

★神坂 一原作のコミックス
角川コミックスドラゴンJr.（角川書店刊）

超爆魔道伝
スレイヤーズ[闇の伝説編] ❶❷❸
原作・神坂 一　作画・義仲翔子
（キャラクター原案・あらいずみるい）……各560円

ドラゴンコミックス（角川書店刊）

スレイヤーズ全1巻
……860円
原作・神坂 一　作画・あらいずみるい

富士見書房　〒102 東京都千代田区富士見1-12-14 TEL. 03(3238)8531 営/振替 00170-5-86044

角川書店　〒102 東京都千代田区富士見2-13-3 TEL. 03(3238)8521 営/振替 00130-9-195208

あらいずみるい画集「SLAYERS」より

月刊コミックドラゴン
超爆魔道伝 スレイヤーズ[闇の伝説編]
原作・神坂 一　作画・義仲翔子
好評連載中!!　毎月9日発売490円

DRAGON MAGAZINE
スレイヤーズSP
神坂一　イラスト/あらいずみるい
好評連載中!!　毎月30日発売 650円

スレイヤーズ RETURN（リターン） キャラクターグッズ通信販売

❶Aセット 1,400円

パスケース

ポスター B2サイズ

ポストカードセット（12枚組）

❸Tシャツ（フリー）
¥2,300

裏（えり下）

❹キャップ
¥2,500

❺テレカA　❻テレカB
テレホンカード50度数
各1,000円

❼あらいずみるい画集
「SLAYERS」
富士見書房 ¥2,000

胸

❽グランドコート
（フリーサイズ）
¥5,800

❾ビデオOVA
スレイヤーズすぺしゃるVol.1
「恐怖のリメラ計画」
バンダイビジュアル（株）¥5,150

❿タペストリー
60×90cm
¥1,500

❷Bセット 1,200円

ノート B5サイズ

下じき B5サイズ

シャープペン

クリアファイル A4サイズ

❶❷はセットのみの販売です。

©1996 神坂一・あらいずみるい ／「スレイヤーズ」製作委員会

通販お申し込み方法

まず、ハガキで注文して下さい。代金は後払いです。

●ハガキの書き方

1.注文する商品と数を記入
2.住所、お名前、年齢、TEL
3.印かんを押す（押してないものは18歳以上の方も無効です）
4.保護者の署名

（例）〔うら〕
①Aセット×1
⑦あらいずみるい画集×1
〒□□□-□□
県　市
町　番地
お名前（ふりがな）年齢
TEL
印
署名

〔おもて〕
50円切手
〒173
板橋区弥生町77〜3
㈱ムービック内
東映㈱
「スレイヤーズリターン」
通販係

18才未満の方は、保護者の方に確認の上、お申し込みください

代金のお支払いは、商品に同封された振込用紙でお近くの郵便局からお振り込みください。3,000円以上の場合は、配達員にお支払い頂く代引きとなります。返品は到着後1週間以内にお願いいたします。返品の送料は、お客様のご負担になります。商品には数に限りがございます。品切の際はご了承ください

●代金は、
商品代金 + 荷づくり送料（一律500円） = 合計金額
となります

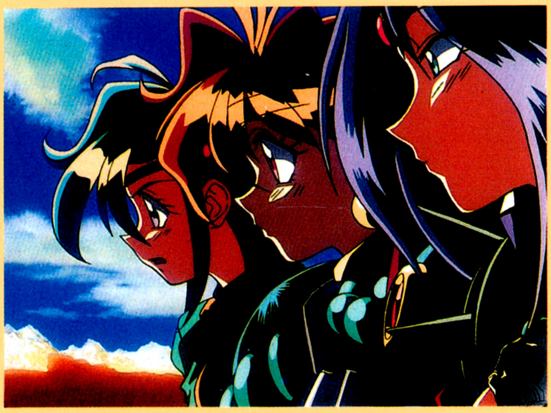
●商品申込受付〆切り平成8年9月30日（月）必着
商品の到着はハガキの受付後およそ30日かかります。
商品の発送はハガキ受付順に行っております。
〆切り間際はハガキが殺到し、やむを得ず商品が品切れになる場合もございます。お申込みはお早めにお願いいたします。

お問合わせ先 ㈱ムービック通販係
Tel.03-3972-1150
営月〜金・朝10：00〜夕方5：00まで
※電話でのご注文はご遠慮下さい。

●一枚のハガキで、すべての商品をお申し込みになれます

商品のデザインは変更になることがあります　あらかじめ御了承下さい

スレイヤーズ RETURN



©1996 神坂一・あらいずみるい/『スレイヤーズ』製作委員会 1996年8月3日発行 発行所:東映㈱映像事業部 編集・デザイン:STUDIO HARD/Back-up 定価500円(税込み)

表紙イラスト：あらいずみるい